

京都府立医科大学附属北部医療センターの 医療提供体制の充実に関する要望書

貴職におかれましては、日頃より京都府立医科大学附属北部医療センター（以下「北部医療センター」という。）の医療提供体制の充実に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、令和2年には当地域の永年の願いでありました丹後圏域初となるがん診断から治療までを一体的に行う「がん診療棟」の開設、更に令和3年には周術期や化学療法、放射線治療において重要な口腔ケアを行う「歯科口腔外科」の診療を本格的に稼働いただき、医療資源の集中する都市部から離れた丹後地域でも安心して生活できる医療の確保が着実に進展していることを実感しています。

また、新型コロナウイルス感染症の対策におきましても、地域住民の生命と健康を守るため強い使命感を持って医療提供の継続に努めていただいております。丹後地域の拠点病院としてその重要性を痛感いたすところです。

北部医療センターは、平成25年4月の京都府立医科大学附属病院化以降、もの忘れ外来や総合診療科の設置、地域病院等への医師派遣機能の充実、診療体制強化のための医師の増配、若手医師等の人材育成、地域特性を踏まえた健康長寿研究など、地域の医療ニーズに的確に対応した機能の充実・強化に積極的に取り組んでいただいているところでありますが、令和3年には「京都府立医科大学附属北部医療センター病院機能検討会議」を設置いただき、今後の少子高齢化の進展による医療需要・疾病構造の変化に対応するため具体的な医療体制の検討をいただいておりますことはこの上ない喜びであり、京都府当局のご支援に改めて厚くお礼を申し上げます。

さらに、主たる施設である本館、北棟等は建築後40年以上が経過し、老朽化が進む病院施設は、大学病院として相応しい高度・専門医療の提供や災害時の医療拠点としての機能発揮に影響を及ぼしかねない状況の中、令和5年度には基本構想の策定に着手いただき、具体的な施設整備に向け動き出していただいたことに、重ねて感謝申し上げます。

北部医療センターが今後ますます多様化する医療ニーズに対応する京都府北部地域の中核病院として、また災害医療の拠点施設として、地域住民の安心確保のための医療施設としてその機能を発揮できますよう、次のとおり要望いたしますので格別のご高配を賜りますようお願い致します。

記

- ①北部医療センターの整備にあたりましては、令和6年度以降も基本計画、基本設計、実施設計等の経費を継続的に予算化していただき、施設整備を早期に実現いただくこと。
- ②北部医療センターの施設整備計画の策定にあたりましては、現在地を基本としていただくこと。仮に用地に不足が生じ新たな用地の確保を要する場合は計画地の用地交渉は地元自治体で行うなど出来る限りの協力を行いません。
- ③施設整備計画にあたりましては、多様化、高度化する医療ニーズに対応でき、あらゆる災害に強い拠点病院となるよう計画的に進めていただくこと。
- ④北部医療センター精神科常勤医師の退職により、丹後医療圏で精神科常勤医師がいない状況となっており、早期に北部医療センターへの常勤医師を配属いただくこと。
- ⑤北部医療センターに隣接している京都府立看護学校の整備にあたりましては、地元医師会、経済団体及び自治体一団となり連携及び協力のもと進めて参りますので、学校機能に加えて京都府北部地域の医師及び看護師等医療従事者の教育・研修の拠点施設として再編するとともに、医療従事者の研修施設や宿泊施設を備えた総合的な医療従事者等の人材育成の拠点として整備していただくこと。
- ⑥地域医療貢献へ一層資するため、北部医療センターをハブとして、丹後医療圏内の医療機関に、地域卒卒業医師等の若手医師をはじめとして、一定期間にわたり常勤医師として配置するシステムを構築し、人材育成機能及び医療提供体制の強化を図っていただくこと。

令和5年8月9日

京都府公立大学法人

京都府立医科大学 学長 夜久 均 様

宮津市長 城 崎 雅 文

京丹後市長 中 山 泰

伊根町長 吉 本 秀 樹

与謝野町長 山 添 藤 真